

平成28年度公立高等学校入学者選抜における連携型選抜について

平成27年3月24日(火)
教育委員会第21回定例会
教育戦略課

1 連携型選抜の検査内容について

平成28年度公立高等学校入学者選抜から、連携型中高一貫校における連携型選抜については、これまでの「作文」に代えて「学力検査（同日に実施する特色選抜の学力検査問題を使用）」を実施。

〈連携型選抜とは〉

- ① 連携型中高一貫教育を実施している中学校・高校間の入学者選抜においては、いわゆる「簡便な入試」が可能である（調査書及び学力検査の成績以外の資料により、入学者選抜を実施）。
- ② 本県においては、平成14年度入学者選抜から那賀高校と阿波西高校で実施している（特色選抜と同日の2月上旬に実施）。

〈検査内容（選抜資料）の変更〉

現行 （出願時）「志望理由書」を提出
（検査日）「作文」と「面接」を実施



変更後 （出願時）「志望理由書」を提出
（検査日）「学力検査（5教科の基礎基本問題）」と「面接」を実施

2 変更理由

- (1) 連携型中学校においては、中学3年生が3学期まで意欲を持ってしっかりと学習に取り組み、学力を身に付けることができる。
 - (2) 連携型高校においては、入学生の基本学力を把握しておくことにより、入学後の適切な学習指導に繋げることができる。
 - (3) 本県では、「徳島『確かな学力』育成プロジェクト」を進めており、県立高校の入学者選抜においても、学力向上の施策に取り組む必要がある。
- (参考) 全国的な調査によると、連携型高校の約2割が学力検査を導入している。

3 今後の審議予定について

平成27年6月の「平成28年度入学者選抜基本方針」で審議いただき決定。